

第60回重症心身障害児(者)を守る全国大会実施要綱

[敬称略]

1. と き

令和5年9月9日(土)～9月10日(日)

2. と こ ろ

リーガロイヤルホテル広島

〒730-0011 広島市中区基町6-78

TEL:082-502-1121 FAX:082-228-5415

3. 内 容

分科会、式典等

4. 主 催

全国重症心身障害児(者)を守る会

社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会

広島県重症心身障害児(者)を守る会

5. 後 援 (予定)

内閣府 子ども家庭庁 厚生労働省 文部科学省 広島県 広島市

社会福祉法人全国社会福祉協議会

公益社団法人日本重症心身障害福祉協会

独立行政法人国立病院機構国立重症心身障害協議会

社会福祉法人広島県社会福祉協議会

社会福祉法人広島市社会福祉協議会

6. 問い合わせ先

社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会 事務局

〒154-0005 東京都世田谷区三宿2丁目30番9号

Tel (03) 3413-6781 Fax (03) 3413-6919

7. 大会次第

〔第1日目〕 令和5年9月9日(土)

時 間	内 容
12:00～13:00	◆受 付
13:00～14:00	◆行政説明 「こども家庭庁の創設と施策の動向」(仮題) 講師：こども家庭庁支援局 障害児支援課長 栗原正明
14:00～14:20	◆会場移動
14:20～17:00	<p>《第1分科会》(国立施設部会)</p> <p>テ - マ： 「これからの入所支援の在り方」</p> <p>パ°ネリスト： 後藤一也(国立重症心身障害協議会会長) 廣瀬喜章(国立病院機構本部 医療企画専門職)</p> <p>コーディネーター： 雨宮 孝久(運動推進委員・国立施設部会長) 藤澤 喜一(運動推進委員・国立施設部会)</p> <hr/> <p>《第2分科会》(重症児施設部会)</p> <p>テ - マ： 「重症児者の入所支援の在り方」 ～年齢・状態に応じた適切な日中活動の提供について～</p> <p>パ°ネリスト： 岡崎 俊彦(こども家庭庁 移行支援専門官) 松崎 貴之(厚生労働省 障害福祉課障害福祉専門官) 神崎 晋(旭川児童院 院長)</p> <p>コーディネーター： 水津 正紀(運動推進委員・重症児施設部会長) 坂田 和夫(運動推進委員・重症児施設部会)</p> <hr/> <p>《第3分科会》(在宅部会)</p> <p>テ - マ： 「輝け!命いっぱい ～これからの在宅支援～」</p> <p>パ°ネリスト： 大塚慎之介(こども家庭庁 障害児支援課障害福祉専門官) 服部 剛(厚生労働省 障害福祉課課長補佐) 菅野 和彦(文部科学省初等中等教育局 視学官) 末光 茂(全国重症心身障害日中活動支援協議会会長)</p> <p>コーディネーター： 太田由美子(運動推進委員・在宅部会長) 岩井 正一(運動推進委員・在宅部会)</p> <hr/> <p>《第4分科会》(母親部会)</p> <p>テ - マ： 「母親の願いは活動の原動力」</p> <p>講 師： 小山 京子(運動推進委員・母親部会長) 古川 英希(全国重症心身障害児(者)を守る会 顧問)</p> <p>司 会 等： 岩城 節子(運動推進委員・母親部会) 谷川 幸子(運動推進委員・母親部会)</p>
18:00～20:00	懇親会 (各専門部会・きょうだいのテーブルを設置)

[第2日目] 令和5年9月10日(日)

時 間	内 容
9:00~10:00	<p>◆基調講演 『生きるとは何か』『人生の幸せとは何か』 — ヒサ坊に生きた北浦雅子の生涯 — みさかえの園総合発達医療福祉センターむつみの家 施設長 福田雅文</p>
	休憩(舞台転換)
<p>10:30~12:00 10:31 10:32 10:37 11:07 11:10 11:35 11:40 11:45 11:53 11:58 11:59 12:00</p>	<p>◆式典</p> <p>開会のことば 広島県支部長 児玉啓子 主催者挨拶 会長代行 小山京子 来賓祝辞 内閣府特命担当大臣 厚生労働大臣 文部科学大臣 広島県知事 広島市長 日本重症心身障害福祉協会 理事長 国立重症心身障害協議会 会長</p> <p>壇上来賓紹介 意見発表 (在宅) 広島県支部 村尾晴美 (施設) 静岡県支部 織田智子</p> <p>来賓紹介 司会者 祝電披露 司会者 施設長等紹介 司会者 要望書採択 朗読: 加藤邦治(広島県支部) 次期開催地挨拶 東京都支部長 安部井聖子 閉会のことば 司会者 終了</p>